

どうなる地方創生、 その方向性を考える



Human Delight 株式会社 代表取締役社長

野田 万起子 のだ まきこ

静岡県出身。東京国際大学経済学部国際学科卒業。米国オレゴン州TIUアメリカ校卒業。1993年株式会社ベンチャー・リンク入社。2010年同社取締役就任。11年同グループのMBOにより独立。インクグロウ株式会社の代表取締役社長を務めたのち、15年より現職。地方自治体の地方創生プロモーションの支援に従事する一方、経済産業省「女性起業家等支援ネットワーク構築事業」の静岡県主宰としても活躍している。

いつも疑問に思うのですが、国の政策は中途半端に終わることが多いように思います。私たち経営者の感覚ですと、例えば中期経営計画を作ればその達成度合いを含め公表していくのは当たり前のことです。国策は旗を揚げてからの進捗状況が極めて不透明です。このシリーズでテーマにしたい「地方創生」についても現状がどうなっているのかを認識した上で、私たちが成すべきことを考えていきたいと思います。

「地方創生元年」の表明

平成26年12月27日に当時の石破茂大臣から、「長期ビジョン」「総合戦略」の閣議決定によるコメント

- 現状、東京圏に10万人の転入超過があるのに対して、これを2020年までに均衡させるための地方移住や企業の地方立地の促進などにより、「地方への新しいひとの流れをつくる」
- 若い世代の経済的安定や、「働き方改革」、結婚・妊娠・出産・子育てについての切れ目のない支援などにより、「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」
- また、併せて、この好循環を支える「まち」の活性化として、中山間地域等、地方都市、大都市圏各々の地域の特性に応じた地域づくりなどにより、「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」

こうした地方の取組に対して、国は、地域経済分析システム（いわゆるビッグデータ）を開発・提供することによる「情報支援」、小規模市町村へ国家公務員を派遣する地方創生人材支援制度や相談窓口となる地方創生コンシェルジュの選任による「人的支援」、地方創生の先行的な取組を支援する新しい交付金措置を盛り込んだ緊急経済対策や地方財政措置などの「財政的支援」により、地方公共団体を支援することとしています。人口減少・超高齢化というピンチをチャンスに変える。この国を、子や孫、更にはその次の世代へと引き継いでいくつではありませんか。

地方創生元年から3年、現状は？

この発表は、地域で奮闘している中小企業にとって大変なモチベーションに繋がりました。また、各自治体ではこぞ「地方創生総合戦略策定」をしたことは皆様もご存じのことと思います。早くも3年が経ちますが「地方創生」が進んでいる実感を持っていますでしょうか？

トが発表されました。それは次の通りです。

地方から日本を創する「長期ビジョン」「総合戦略」の閣議決定を受けて日本は世界に先駆けて「人口減少・超高齢社会」を迎えています。まち・ひと・しごと創生本部は、我が国が直面する人口減少克服・地方創生という構造的な課題に正面から取り組むために設置されました。（中略）
「じつじつ」と「ひたひた」の好循環として、次の目標に対応する施策を提示しています。
● 2020年までの5年間で地方での若者雇用30万人分創出などにより、「地方における安定的な雇用を創出する」

さて、ここで私自身が「創生会議委員」として参画した静岡市の課題を挙げてみます。静岡市は東京から新幹線で約1時間という立地、太平洋に面し温暖な気候で、平成25年には三保松原が富士山世界文化遺産の構成資産に登録されました。「静岡」の印象としてはよく「住みやすいところ」と評価されます。ところが実態というと、

- 国、県よりも20年早い1990年から人口減少が始まる。
- 年少人口、生産年齢人口は減少し総人口に占める老年人口の割合は高くなっていく。
- 大学進学、就職に係る18歳から22歳の若者の転出が目立ち、主な転出先は東京圏となっている。
- 女性は、ほぼ全年齢にわたって転出超過となっており主な転出先は東京圏となっている。
- これら人口減少が経済社会に与える影響は、生産年齢人口が減少し、産業の担い手である労働力が不足する。
- 消費の減少に伴い市場が縮小し、提供されるサービス等が減り、生活が不便になる。
- 地域社会の担い手が減少し、公共サービスに係る負担が増加。

と、物凄い危機感を覚える状況です。しかしながら、机上で議論される内容は何とも絵花的で「いつまでに」「誰が」「どのように」やるのかは明確ではありません。冒頭の話に繋がります。これは残念ながら全国に散見されることのように思います。このシリーズではその実態検証から、各地域での具体的事例を考察し、私たち中小企業の役割の更なる提言に繋がっていきたく思っております。

先